

# SANJO

# 会報

A booklet  
about the events  
in Sanjo.

6  
2026

三条商工会議所会報

VOL.882

6/25号

毎月25日配信

三条商工会議所が発行する、  
ビジネス情報誌

02..... 次の成長を考える経営セミナー

03..... パルム2号館復活へ  
女性会だより 通常総会

04..... 若手仕事人図鑑 特別編

06..... 会頭杯ゴルフ大会のお知らせ  
新入会員一覧

07..... 健康経営フォーラム

08..... LOBO調査



【若手仕事人図鑑 特別編】

「人が、ひらく。」  
熱が、つたわる。

燕三条工場の祭典2026

実行委員長  
捧 開維 氏(燕物産(株))

専務理事  
笹川 英二 氏(笹川メッキ(株))

## 次の成長を考える経営セミナー 【三条商工会議所×三条商鐵組合】

三条商工会議所と三条商鐵組合はこのほど、「次の成長を考える経営セミナー」を共催した。講師の三条市立大学アハメ



ド・シャハリアル学長は、人工知能（AI）の進化や人口減少など厳しい環境下にある地元企業に対し、過去の成功体験から脱却し、若者の創造力を生かした「新たな価値」を創出する重要性を訴えかけた。

同大学は開学から5年の新設校だが、株式会社大学通信が、全国の進学校の進路指導教諭を対象としたアンケートをもとに作成された「小規模だが評価できる大学ランキング2025 関東・甲信越編」で2位、同アンケートをもとに作成された「小規模だが評価できる大学 工科系大学編」で5位となるなど、全国的に評価が高まっている。

シャハリアル学長はセミナーで、大学、企業、行政が一体となって若者を育成し、共に成長していく持続可能モデルの必要性を掲げた。地場企業は大学を『「支援する対象」』としてではなく、自社の課題解決や成長戦略のための『「パートナー」』として、戦略的・主体的に使い倒す』ことで、この持続可能モデルが実現するといひ、以下のように例示した。

### 1 「社員の育成（OJT）やスキルアップの場として活用する」

ある企業では、単なる人材確保（卒業生の採用）を目的とするのではなく、自社の社員育成のために産学連携実習を活用した。大学生を指導するメンター役を自社の新入社員や若手に任せることで、「人に物を教える時に一番頭の中が整理整頓される」という効果を狙い、社員自身の成長を促すことに成功した。

### 2 「自社の「R&D（研究開発）センター」として見立てる

企業規模を問わず、大学を自社の研究開発センターのように使って活用できる。自社単独で

は新しい技術や出口戦略を描くのが難しい場合でも、大学の学生たちに「ちょっとこれをこういう風に考えてちょうだい」と任せてみることで、新たな可能性を開拓できる。



### 3 「若者の『創造力』を取り込み、社内に新たな刺激をもたらす

AIが台頭する時代を、人間が生き抜くための唯一の力は「創造力」であり、それを引き出すためにはイマジネーションへの刺激が必要。実習などで学生を受け入れる際、企業側は「学生から何を抽出するか」「学生と一緒にいることで、自社にどのような豊かさを作れるか」を主体的に考える。若者の新しい視点に触れることは、企業の成功体験や常識をほどほどに否定し、現状を打破するきっかけになる。

### 4 「持続可能なビジネスモデルの一部として組み込む」

大学、企業、地域がバラバラに活動するのではなく、一体となって価値を創出する「共同の状況」を作ること。大学の学生が企業で実習を行い、企業から実践的な刺激を受けて感動し、その見返りとして企業側も学生から社内への刺激や人材育成効果という「価値」を得る。互いにメリットを享受できる関係性をビジネスモデルとして設計すること。

### 実行力とスピードが競争力を生む

「どんなに素晴らしい知識や歴史も、利益や雇用に変換できなければ意味がない」とシャハリアル学長は持論を展開し、「知識や歴史から利益や雇用を生むための鍵が『実行力』であり、行動のスピードこそが競争力を生み出す。知識の差ではなく、実行力の差が結果を分ける」と強調し、地場企業にパートナーとして大学を「使い倒す」よう呼びかけた。

## 展示や交流の場、チャレンジショップ的利用も パルム2号館に再びにぎわいを

三条市神明町の商業施設「パルム2号館」では、中心市街地の人通りやにぎわいを取り戻そうと、新規創業を志す人や作品の展示場を求める人たちに向けて、同館の利活用を呼びかけている。キーテナントとなるスーパーを擁したパルム1号館の閉館から16年。パルム1号館跡地には金融機関が移転し、一定の人の流れが形成されている。パルム2号館では、中心市街地拠点施設「TREE」をきっかけに空き店舗への新規出店が目立つノ



木戸商店街をモデルケースとし、新たな人の流れを生み出すため「パルム2号館復活」を合言葉に、小売、飲食、事務所やレンタルスペースなど、業種を限定することなく広く門戸を開いている。

現在、同館では小売店や美容室、事務所など6区画が営業中だ。管理組合が窓口となる一部の区画では、電気・ガス・水道などのインフラ設備が設けられており、飲食業の開業に対応可能なスペースもある（※

業種や設備容量は要相談）。また、「相談があれば公的支援の窓口につながることもできる」と、先輩店舗からの心強い後押しも期待できる。さらに、パルム2号館のマンション前には店舗利用者向けの無料駐車場（7台）を新たに設置しており、自動車での来店もしやすくなっている。



入居する小売店の店主の1人は「私も脱サラで商売を始めたが、商売のスタイルを確立していく最初の2年、3年はとにかく不安なもの。まずは1年でも、ここで商売をやってみて、スタイルを確立しては」とエールを送る。

往時のようなにぎわいにすぐには及ばなくとも、趣味のグループやサークルの展示会場、会合の場としての利活用も歓迎しており、「まずは、ざっくばらんに話だけでも大歓迎」と気軽な問い合わせを募っている。

問い合わせは、パルム2号館管理組合（TEL：0256-35-7431）へ。

## 新年度事業計画など全議案を承認 三条商工会議所女性会通常総会

当所女性会（山井多香子会長）は6月8日、三条ロイヤルホテルで「令和8年度通常総会」並びに懇親会を開催。令和7年度の事業報告や新年度の事業計画などすべての議案が満場一致で承認された。令和8年度事業では、11月に予定する国会議事堂や迎賓館赤坂離宮の視察研修、10月の上越女性会設立20周年記念式典、来年3月の全国商工会議所女性会連合会横浜全国大会への参加などが計画されており、会員相互の研鑽と交流を深め、地域経済の活性化を目指す。

総会後に開かれた第2部の懇親会では、来賓として滝沢亮三条市長、兼古耕一会頭も出席し、和やかな雰囲気



の中で情報交換や親睦を深め、今後のさらなる発展と地域経済への貢献を誓い合い、盛会のうちに幕を閉じた。

## 「人が、ひらく。」 熱が、つたわる。



### 燕三条工場の祭典2026

実行委員長  
捧 開維氏 (燕物産(株))

専務理事  
笹川 英二氏 (笹川メッキ(株))

10月1日(木)～4日(日)の4日間、燕三条地域の157社が参加して開催される「燕三条工場の祭典」。今年度は「人が、ひらく。」を年次テーマに、参加企業、来場者、実行委員、そして地域ぐるみで「関わったすべての人たちの満足度が高い催し」、10年先を見据えた基盤づくりの初年度として一步を踏み出した。

今回は「若手仕事人図鑑」特別編として、燕三条工場の祭典2026の取り組み内容や見どころについて、捧開維実行委員長、笹川英二専務理事に話を聞いた。

過去最多157社が参加することに加え、人材育成のための「ローカルラボ」、交流会「工場ミーティング」と本祭の4日間以外の催しが、より充実したことが燕三条工場の祭典2026の特徴。捧実行委員長は「実行委員長として約2か月間走ってきて、前年度の133社に対して157社の参加申し込みがあり、これまでの準備が実を結んでいる実感があります。三条、燕の商工会議所青年部共催でありながら、青年部に所属していない私を抜擢し、支えてくれている実行委員会メンバーのおかげであり、今年度の施策が走り出したことで、急激に忙しくなりましたね」と声を弾ませる。

笹川専務理事も「新しい体制となって、これまで2年で積み上げてきたものを軸に、『人が、ひらく。』のテーマのもと、事業をグレードアップし体現するための企画が開花しようとしています。参加の157社、期待していただいている来場者に新しい価値を提供したいですね」と意気込んでいる。本祭まで3カ月余りだが、実行委員会の熱量は本番さながらに高くなっている。

〈燕三条工場の祭典2026〉

<https://kouba-fes.jp/>

事務局TEL：080-1186-0484

E-mail：kouba.0229@gmail.com



### 初参加でも一体感を

今月29日(月)から3回開催する交流会「工場ミーティング」、工場の祭典をきっかけに地域産業やまちづくりに携わる人材を育成しようという全8回の「ローカルラボ」、さらにデザインを学ぶ学生をメンバーに加えた産学連携デザインチーム「プリプレス」と、今年度のテーマのとおり、10月の本祭の前に人にフォーカスした催しや取り組みが目立つ。



工場ミーティングは「初参加の工場が先輩工場と交流し、一体感を醸成すること。先輩工場に参加当初の初心を振り返ってもらう意味合いもある」。10月の本祭に向けて自社の強みを知り、対外発信に必要な情報管理や守秘義務について、さらには工場の装飾や動線づくりなどのテクニックも学べるようプログラムが組まれている。

ローカルラボは参加工場の従業員はもちろん、学生、一般市民の参加も想定。工場の祭典ボランティアやまちづくりなど「地域のプレイヤー」を育成する試み。10年先を見据え、参加工場だけでなく、工場の祭典に賛同し関わる人たちを育てていく。

プリプレスでは、地場企業と学生との関係を深めながら2026年のキービジュアル作成が進んでいる。7月15日、JR燕三条駅に設置されるモニュメントとともにプレス発表される予定だ。

参加工場が目線で見える工場の祭典について、捧実行委員長は「普段はエンドユーザーに会えない職人が、直接エンドユーザーに説明する機会ができることは大いに刺激となっています。さらに工場の祭典をきっかけに若い磨き職人が入社してくれたこと、新しい引き合いにもつなが

### 工場の祭典のメリットとは

参加工場が目線で見える工場の祭典について、捧実行委員長は「普段はエンドユーザーに会えない職人が、直接エンドユーザーに説明する機会ができることは大いに刺激となっています。さらに工場の祭典をきっかけに若い磨き職人が入社してくれたこと、新しい引き合いにもつなが



がりました」と話す。

笹川専務理事は「社内で工場の祭典運営チームを組織し、毎年運営委員を入れ替えています。お客様を相手に話している姿を見ると、社員はやりがいを感じているようですし、モチベーションアップやインナーブランディングにつながっている。『工場を見せることが難しい』という声がありますが、BtoBであってもワークショップや体験会など見せ方は工夫できます」と言う。

そして、「たとえ同じ話であっても、伝える職人によってニュアンスは違う。仮に工程をよく知っている人に話したとしても、職人1人ひとりから伝わる熱量があるはず。その熱量こそ工場の祭典の核心」と2人は口を揃えた。

### メーカースケープ Makerscape みらいにつなぐ10年

10年先を見据えたビジョンMakerscapeは「ものづくりをする人々が創り出す、唯一無二の風景」を意味する。捧実行委員長は「燕三条地域が目指している産業観光都市に対して、



私たちは産業が中心となったビジョンを描いています。技術や製品をつくり、つないでいるのは『人』ですから、今年度はあえて『人』を主語にしたテーマを掲げました。特別なことをする工場ではなくても、派手ではなくても、わざわざ見に来たいと思える現場の空気や職人の姿こそが、この地域の価値だと考えています。地域、行政、教育機関、そして来訪者がともに関わりながら、10年後もこの地域に誇りをもてることを目指したい」と理念を語り、「工場の祭典に訪れた人たちが、後日、工場の祭典を思い出すとき、『あの職人の話がよかった』などと人の顔を思い浮かべてくれたら、燕三条工場の祭典2026は成功です」と言い切る。

未来の参加工場に向けて笹川専務理事は「工場の祭典は、展示会でも、販売イベントでもない地域ブランディング。業種を問わず燕三条の産業が大きくなれば、自社の事業に必ずメリットがあります。一緒に産業を盛り上げましょう」と呼びかける。まずは最寄りの参加工場に足を運び「来場者の表情を見てほしい。できる限り門戸を広げていきますので、ぜひのぞきにきていただきたい」と来場を呼び掛けている。

## 第43回会頭杯ゴルフ大会 開催のご案内

毎年恒例となっております「会頭杯ゴルフ大会」を、今年で第43回目として開催いたします。本大会は、会員皆様の親睦を深め、日頃の運動不足解消やリフレッシュ、さらには異業種間の貴重な情報交換の場として大変ご好評をいただいております。さわやかな秋空の下、のびのびとプレーを楽しみながら、会員同士の交流の輪を広げませんか？

ゴルフ初心者からベテランの方まで大歓迎です。職場の皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。



昨年の大会の様子

- 開催日：2026年9月12日（土）
- 会場：下田城カントリー倶楽部
- 参加資格：当所会員事業所の役員・従業員（1事業所4名以内）
- 定員：200名程度（先着順での受付となります）
- 申込締切：2026年7月24日（金）必着
- 表彰式：大会当日午後6時30分より「ジオ・ワールドビップ」にて開催

本大会の参加費やプレー代（メンバー・ビジター料金）、競技方法、早朝スループレー枠のご希望など、大会に関する詳しい開催要項およびお申し込み方法につきましては、三条商工会議所のホームページをご覧ください。

※表彰式不参加の場合の規定やキャンセル料等についてもHPで必ずご確認ください。

▶詳細のご確認・お申し込みはこちらから（三条商工会議所HP）<https://www.sanjo-cci.or.jp/>



## 新入会員のご紹介（敬称略）

事業所名	代表者	所在地	事業内容	所属部会名
BONDS	山中良太	三条市本町2	空き家・古物のコーディネート、販売	卸商業
(株)LIGHT SHIP	松本将史	燕市井土巻3	教育支援	専門サービス
サバイバルゲームスクエア ストライフ燕三条	高野桂至	三条市土場	アミューズメント業	飲食・サービス
(株)サンユーパッケージ	玉木一朋	三条市東光寺	印刷業	印刷紙器関連
(株)アイケー工業	今井 寛	三条市東裏館2	建築板金	建設

## 市内企業の「健康経営」推進を後押し 三条市健康経営フォーラム開催



当所は6月2日、アクサ生命保険株式会社および三条市との共催により、「三条市健康経営フォーラム」をジオ・ワールドビップで開催した。本フォーラムは、2025年2月に三条市とアクサ生命が締結した「健康経営の推進に関する連携協定」に基づき、市内企業における健康経営のさらなる普及と実践を後押しすることを目的に企画されたもの。市内企業など26社から36名が参加し、このうち19社がすでに健康経営優良法人の認定を受けている企業であり、地場企業の健康経営に対する関心の高さがうかがえた。

第一部では、市内企業2社による事例発表が行われた。健康経営優良法人の中でも上位に入る「ブライツ500」の認定を受けた(株)マルサの齋藤一成代表取締役社長と原久子主任、そして今年度初認定を受けた川口工器株式会社の鈴木真樹子課長が登壇した。

ブライツ500の(株)マルサでは、メンタルヘルス対策や年休取得の促進に加え、社長・総務・所属課長による三段階の面談、社員への健康習慣アンケートの実施。会社負担によるインフルエンザワクチン接種などが紹介され「健康経営は何か大きな取り組みを1つ行うのではなく、地道な積み重ねが必要。続けることで会社として社員の健康を大切にしているメッセージが伝

わった」と、発表した。

川口工器(株)では、タバコを吸う人にも吸わない人にも配慮した受動喫煙対策(喫煙室の設置)や、スマホのアプリを使った新潟県のウォークラリーイベント「にいがたヘルスポウォークラリー」に参加。社長が率先して取り組む姿勢を示すため「社長より歩いたで賞」を設けるなどして、社内で楽しみながら取り組んでいる様子が紹介された。

三条市健康づくり課からも、「ちょこっと筋トレ」や「推定食塩摂取量調査及び保健指導」といった、企業が社内で活用できる健康増進プログラムが紹介され、官民連携による具体的なサポート体制が提示された。

第2部では、円卓を囲んでの食事が催され、企業間での活発な情報交換が行われた。

終了後のアンケートでは、回答者のほとんどがフォーラム全体に「満足」以上と回答した。自由記述でも「他社の具体的な取り組みが大変参考になった」「自社でも有給休暇を取得しやすい環境づくりや、健康習慣アンケートなど、できることから取り組みたい」といった声が多数寄せられていた。



滝沢市長

## 5月LOBO調査(商工会議所早期景気観測)

調査期間:令和8年5月14日～20日

調査対象:全国の323商工会議所が2,426企業にヒアリング

### ※DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

業況・採算:(好転)-(悪化)

売上:(増加)-(減少)

## 業況DIは、中東情勢の影響が拡がり悪化 先行きは、影響の収束が見通せず、厳しい見方続く

全産業合計の業況DIは、▲24.3(前月比▲2.4ポイント)

建設業では、底堅い設備投資需要が下支えとなり、ほぼ横ばいに止まったものの、全業種で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇や調達困難化の影響が見られている。特に、製造業・建設業では、受注・生産量の減少や納期遅延などが発生しており、影響が深刻化している。卸売業・小売業・サービス業へも、石油由来製品の価格高騰・供給制約による利益率悪化といった影響が幅広く及んでおり、内需関連産業にも下押し圧力が拡大している様子がうかがえる。

長引く物価高や円安の影響で消費者の節約志向が高まっている。大型連休は近場の観光施設や飲食店を中心に好調だったが、その後は勢いを欠いている。

先行き見通しDIは、▲27.3(今月比▲3.0ポイント)

高水準での賃上げが下支えとなっているものの、足もとの燃料価格の上昇や長引く物価高が、消費マインドを下押ししている。

また、中東情勢の影響の収束が見通せない中、現状が長期化した場合、事業の見直しや資金繰りの悪化等につながる懸念され、先行きは一段と悪化を見込んでいます。

### 5月全産業DIの推移

		全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	5月の業況(前年同月比)	▲24.3 ➔	▲24.8 ➔	▲22.6 ➔	▲30.8 ➔	▲30.7 ➔	▲18.0 ➔
	先行見通し(3ヶ月先の見通し)	▲27.3	▲25.8	▲27.1	▲36.2	▲31.0	▲21.9
北陸 信越	5月の業況(前年同月比)	▲27.5 ➔	▲35.3 ➔	▲24.5 ↗	▲30.0 ↑	▲29.0 ↓	▲23.6 ➔
	先行見通し(3ヶ月先の見通し)	▲29.1	▲47.1	▲30.6	▲30.0	▲25.8	▲18.2

※➔は4月の業況DIとの比較。±5未満は横ばい(➔)、±5以上15未満(↗↘)、±15以上(↑↓)

令和8年  
**7月** 三条商工会議所専門家相談日  
秘密を厳守しておりますのでお気軽にご相談ください!

ご相談  
無料

相談時間:10:00~12:00 ※一部時間が異なります。

会場:三条商工会議所3F相談室  
(資金繰り相談のみ2F日本政策金融公庫三条支店)

税理士による  
**7(火)**  
税務・消費税  
対策相談

弁護士による  
**15(水)**  
法律相談

事業承継  
相談 **15(水)**

知的財産権相談  
**10(金)と27(月)**  
※13:00~16:00

M&A相談  
**8(水)**

社労士による労務相談  
行政書士による行政書士相談  
随時お受けしております

貿易相談  
BCP相談  
随時お受けしております

日本政策金融公庫による  
資金繰り相談  
随時お受けしております

TEL 0256-32-1311  
まずはお電話にてお申し込みください。

※「税務・消費税対策相談」「法律相談」「事業承継相談」「M&A相談」「知的財産権相談」は相談日の7日前迄に予約が無い場合は中止となります。(予約締切日が休日の場合は、その前日迄にご予約ください。)